



平成21年度 成人式

『はたち』の旅立ち



新成人71人が式に駆け付けた

平成21年度の成人式が8月15日、平泉文化遺産センターで行われ、対象者95人のうち71人が出席し、大人としての第一歩を踏み出しました。式典では高橋町長のあいさつ、青木町議会議長の祝辞などに続いて、新成人に記念品が手渡されました。また吉野浩平さん（12区出身）が代表して、成人としての決意を述べました。式典後のアトラクションでは、



新成人を代表してあいさつした吉野さん

中学生時代に記録した写真などを披露。成人式実行委員会（菅原拓夢委員長・委員7人）の進行で大いに盛り上がり、笑い声と拍手が絶えない成人式となりました。



アトラクションでの写真披露で会場は笑いの渦に



千葉 朋さん
(10区出身)

成人として、今後は大人のルールを学び、守れるようになりたいです。いろいろな方の支えがあって、ここまで来ることができました。感謝しています。

新成人からの メッセージ

佐々木 直哉さん
(1区出身)

成人式を迎え、ようやく成人になったという実感がわきました。今後は気持ちを引き締め、仕事面と生活面それぞれをしっかりとしていきたいと思えます。



幽玄の世界をかもしだした中尊寺新能 8月14日



旧観自在王院庭園と平泉文化遺産センターをメイン会場に今年初めて開かれた「夢灯り+（プラス）」（平泉まちてらす会主催）。手作りの灯り約3000個が、古都の夜を優しくともした。（写真は夢灯りで表現した「平泉」の文字 = 8月16日、旧観自在王院庭園）

今年の夏も、町内では多彩な行事が繰り広げられ、過ぎゆく古都の夏が華やかに彩られました。恒例の大文字まつりや中尊寺新能など、夜のイベントには多くの見物客が繰り出し、夜空に赤々と浮かぶ「大」の字や、迫真の舞、夢灯りがいさなう幻想世界など、風情あふれるひとときを堪能していました。



北上川左岸で花火が打ち上げられ、大文字に彩りを添えた（8月16日）



平泉中2年生とその保護者が、大文字の火床作りを手伝った（8月8日）



各地区でにぎわいを見せた盆踊り（写真は駅前盆踊り大会、8月14日）

古都の夏を華やかに彩る